

丹波の老舗企業を紹介 第5弾  
明治43年創業 菓子製造 谷甲賀堂



手作りのおいさを届けたい  
キーワードは「信頼関係」

明治43年(1910年)、氷上町成松で創業した和菓子の名店「谷甲賀堂」。店主が丹精こめたお菓子を販売し、市内外からの注文が相次ぐ人気店です。

長い伝統を受け継ぐ5代目の谷和浩さんに、商売に対する思いなどを伺いました。

☎ 82 - 1168

お菓子一筋110年

谷甲賀堂は、もなかや季節の和菓子などを製造販売し、今年で創業110年になる菓子店です。栗入りの「甲賀山最中」など、70年以上作り続けているお菓子もあり、成松の店舗や道の駅などで販売しています。店には明治43年の創業時に定められた「店則」があり、「早く静に確実に」をモットーに、「お客さんを待たせず、作業中はしゃべらず、1つ1つ丁寧に」お菓子を作っています。

先代から店を引き継いだとき、確かな製品を作ることと同時に、安心して食べてもらえるように、信頼関係を築くことも大切だと教えられました。長くお付き合いのあるお客さんの中には、デマンドタクシーで買いに来てくださったり、いこいの場としてくつろいで話をされたりする方もあり、良い関係を築けています。

丹波の土産として

コンビニでも和菓子が買える現代、当店の売りは贈答用のお菓子として使っていただけることだと思います。贈答用の袋には丹波の名所なども描いているので、地元の手土産として買っていかれることも多く、お菓子を気に入られた方から注文に

つながることもあります。女性はもちろん、男性のリピーターや、北海道・沖縄からも注文が入るのはありがたく思っています。

時代に合わせ洋菓子も作る

私に代替わりしてから、お客さんの要望に応じて洋菓子の販売も始めました。和菓子の材料を使ったあつさりしたクリスマスケーキなど、和菓子屋の良さを生かした商品も販売しています。また、丹波市産のごまや黒豆きなこを使ったフィナンシェも開発し、時代のニーズに合わせたお菓子も作っています。

手作りで確かなものを届けたい

地方卸売市場にも協力してもらい、お菓子の特徴に応じた食材を全国各地から仕入れています。毎朝4時半に起きて仕込みをするのは大変ではありますが、お客さんに町はずれの店まで足を運んでもらえるのは大変ありがたいと思っています。

春は桜もち・いちご大福、夏は本わらび粉のわらび餅の季節です。今後も確かなものを作りし、届けていきたいと思っています。

※営業時間・午前8時30分〜午後6時。駐車場あり。

発行/丹波市 編集/企画総務部総合政策課広報広聴係  
〒669-3692 兵庫県丹波市氷上町成松字甲賀1番地  
市役所 ☎ 0795(82)1001 春日支所 ☎ 0795(88)5130 柏原支所 ☎ 0795(72)0544 青垣支所 ☎ 0795(87)1001 山南支所 ☎ 0795(77)0240 市島支所 ☎ 0795(85)1001 消防本部 ☎ 0795(72)2255  
令和2年4月20日発行 URL <http://www.city.tamba.lg.jp/> HP 「広報たんば」は、市のホームページに掲載しています